

第23表は、新聞の普及度をしめたものであるが、東北6県のうち本県の新聞普及度はもっとも高い。

1部当りの人数では、4.48人で宮城県の4.49人よりわずかに多い。一世帯当りの部数は1.11部でこれも1位をしめている。新聞のどんな記事をとくに読んでいるかを示したのが、第24表である。

スポーツ記事、社会記事、テレビ、ラジオ番組が圧倒的に多い。

第24表 新聞のとくに読む記事  
(1964 青少年白書)

	%
スポーツ記事	41.9
社会記事	39.0
テレビ、ラジオ番組	35.1
政治、経済、外交	9.4
小説、漫画、碁、将棋	7.9
文化学芸	6.7
家庭、婦人保健、	6.3
社説、評論、解説、批評	4.3
投書、身上相談	2.4
広告	1.5
その他	0.6
とくにない、不明	1.4
読んでいない	10.2
計 (M.T)	166.7%

### 3 書籍、雑誌、映画、広告のマス化

書籍、雑誌、映画、広告の本県資料が手もとにないので、国勢図会・1966年版によってわが国の状況から推測してみることにする。

第25表 書籍、雑誌、映画、広告の現況 (1966 国勢図会による)

	書 籍		雑 誌		映 画		廣 告
	出版点数	出版部数	出版点数	出版部数	常設館数	観客数	
	点	万部	点	万冊	館	百万人	億円
1963年	22,877	26.625	2,031	109,150	6,164	511	2,982
1964	22,754	30,890	1,938	117,550	4,927	431	3,491
1965					4,649	373	3,440
(注)	この中・児童 向・学習参考 書は約20%	16%の増	うち週刊誌に 54%	8%増 週刊誌の増は 11%			新聞 35.8% 雑誌 5.6 ラジオ 4.7 テレビ 32.2 その他 21.7

書籍の出版点数は若干減少しているが、出版部数は16%の前年比較増となっている。国民1人当たり3部余という大量の書籍が出版されている。このうち児童向け書籍と学習参考書が約20%をしめている。

また雑誌の出版点数は、1,938点で、うち週刊誌が54%をしめている。第26表によって主によんでいる週刊紙をみると、週刊平凡、週刊明星をよんでいるものももっとも多く、ついで女性向きのもの、スポーツ誌、少年向きのものとなっている。

雑誌の発行部数は、1,175,500千冊で国民1人当たり12冊に近い。雑誌のはん濫状態を呈している。

雑誌の発行部数の対前年増加は8%であるが、週刊紙は11%におよんでいる。

映画は、テレビの普及度のたかまりの影響によって、常設映画館、観客数は年をおって減少して